

公民館の指定管理は機能充実と 整合するのか

～直営であろうと民間であろうと
機能充実は重要な施策～



おのゆうじ
小野 勇 治

緑政会

質

決裁のための館長兼務が実態ではないか。指定管理移行の内部協議で館長は参加しているのか。

答

教育長
地域が詳しいことです。

質

支所長兼務の公民館長は何を期待した体制なのか。

答

社会教育課長

担当職員との協議で、館長は参加していません。

質

第3次総合教育計画の中に指定管理の方針は一言もない。なぜか。

答

社会教育課長

そのような細かなところまで記載されていません。

質

計画によると6次化のブランド化は本年すでに完了していることになっている。販売促

答

進の東京のアンテナショップでの売り上げ成果は。

質

大きな成果はないですが、販売促進につながりPRする効果が出ています。具体的商談に移行するよう考えています。

質

里の旅タクシーと観光PRの委託事業はその内容が全く違うのになぜ見積額が同額なのか。

答

商工観光課長

前年度から協議したもので予算に合わせたものです。

質

委託事業里の旅タクシーは、460名が利用する計画である。4月から11月までの実績はどうか。また、精算のチェックは。

答

商工観光課長

43名の利用で極めて不調であり、今後向上に取り組みます。精算のチェックはしっかりとさせていただきます。



大野公民館



しょうのてるお
生野照雄

清風クラブ

市のエネルギー政策は

～地産地消型エネルギーシステムを構築することが必要～

質

再生可能エネルギー政策と林業振興で共存共栄を。

答
市長

本市は、電力として太陽光・木質バイオマス・小水力などの再生可能エネルギーを推進しています。また、地域バイオマスを利用した里山エネルギー循環モデル事業・ぶんごるエネルギーを提案して

います。提案した事業概要は、木質バイオマス資源を活用し、市内各地の既存需要施設の近くに熱電併給設備を設置し、熱電併給を行うものです。

分散型エネルギーインフラプロジェクトを通して、地域エネルギーを利用する事業を誘致し、地域活性化・雇用創出を目指し、また市内林業を最大限に活用し、森林や放置竹林の整備を推進します。

あわせて、バイオマス利用による地球温暖化防止への貢献とともに、災害に強いまちづくりを推進し、第2次豊後大野市総合計画における将来像である「人も自然もシアワセなまち」の実現を目指します。

以上のことからエネルギー政策を進める上で、3つの具体的な取り組みを行います。
1つ目は豊後大野市エネルギービジョンの策定です。エネルギー資源の賦存量調査等を

下に、エネルギー政策の基本方針を示します。
2つ目はバイオマス発電排熱利用計画の策定です。総務省の分散型エネルギーインフラプロジェクトを活用し、マスタープランを策定します。

3つ目は地域新電力会社の設立に向けての連携協定です。地産地消型エネルギーシステムの構築に向けて、地域新電力会社のトップランナーである福岡県みやま市と連携したいと考えています。

いずれにしても、今回の地産地消型・分散型エネルギーシステムの構築に向けて、林業振興と歩調を合わせながら推進していきます。

その他の質問
・豊後大野市の防災について



木質バイオマス発電所